

11月16日(土)長崎県食育フェスタの開会式にて 令和6年度長崎県食育推進活動表彰を行いました



1個人2団体が表彰されました。おめでとうございます。

この賞は、社会的貢献度が高く他のモデルとなる実践的な食育活動に取り組んでいる個人及び団体に対する長崎県知事表彰です。

長崎県食育フェスタの特集は次号予定です

【個人】 小西治子氏

島原市の食生活改善推進員の食育活動として令和2年にこども食堂「島原白山こども食堂キッズキッチン」の開設に尽力し、その後の運営にも中心となって携わっています。その参加者は、年々増加し、現在では、参加対象も乳幼児から高校生、高齢者、留学生に広がっており、共食の場の提供から多世代交流の場へと広がり、更に郷土料理や和食の調理体験を通して、地元の農業・漁業関係者との連携にもつながっています。また、管理栄養士として、高校での家庭科講師を勤め、授業を通して、高校生の食育活動を支援するなど、多岐にわたって食育推進に貢献しています。

【団体】 下五島地区食品衛生協会

五島市内の幼稚園や保育園等で、幼児期から食中毒や感染症に対する衛生意識や食への関心を高めるために、「わっくわく手洗い教室」を平成25年からスタートし、その活動は10年間継続され現在に至っています。手洗い教室では、園児参加型の手遊びや人形劇等を取り入れて、園児が楽しく学習できるよう創意工夫を行っており、正しい手洗い指導を通じ食育推進に貢献しています。

【団体】 雲仙市婦人会連絡協議会 南串山婦人会

雲仙市南串山町は50年以上前にジャガイモ栽培が始まり、現在では長崎県内の代表的な産地となっています。この地元特産品であるジャガイモを使った地域振興を中学生とともに考え、特産品のPRとして「肉じゃが」を作り、平成11年から地域の産業祭(「南串うまかもん祭り」、「雲仙市特産まんぞく市」)にて試食の提供を開始し、その活動は25年に及んでいます。現在も、地元の中学生とともに活動を継続し、食農体験や地産地消を通して、地域活性化や郷土愛の醸成、食文化の次世代への継承などに貢献しています。